

**▼東京都教育委員会の目標（基本方針より）**  
 1. 人権教育及び心の教育を充実するとともに、公共心をもち自立した個人を育てる教育を推進する。  
 2. 基礎的な学力の向上を図り、子供たちの個性と創造力を伸ばす教育を重視する。

**▼西東京市教育委員会の目標**  
 ◎互いの生命と人格を尊重し、思いやりと規範意識のある市民  
 ◎自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな市民

**◇泉小学校の教育目標◇**  
 ○思いやりのある子  
 ○ねばり強く考える子  
 ○じょうぶな子

**▼保護者の願い**  
 ・よく分かる授業を進めてほしい。  
 ・心豊かな子供を育ててほしい。  
 ・規律ある子供を育ててほしい。

**▼教職員の願い**  
 ・自ら学ぶ楽しさや喜びを味わわせたい。  
 ・生きる力を育てたい。

**▼地域の状況**  
 ・自然環境に恵まれ、落ち着いた雰囲気にも包まれている。  
 ・保護者は学校教育に関心が高く、とても協力的である。

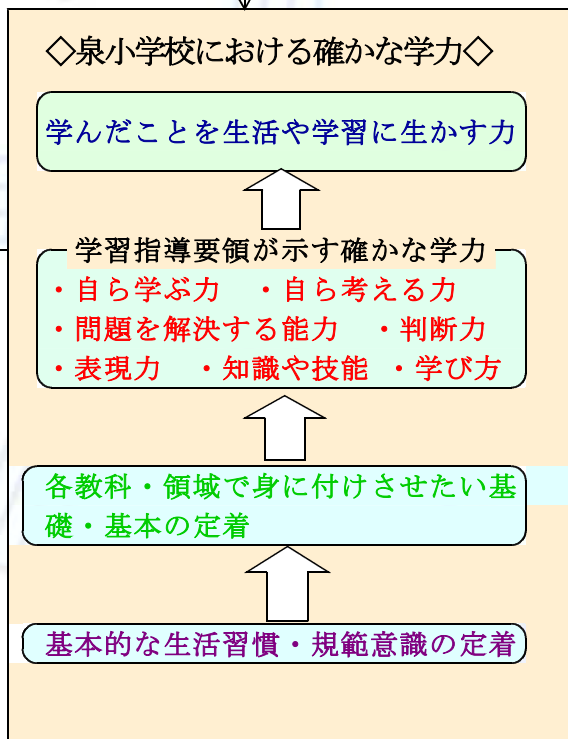
**◇各教科の指導の重点◇**  
 全ての教科において言語活動を重視した学習活動を進める。

**【国語】** 自分の考えや意図などが伝わるような力を伸ばすために、コミュニケーション能力を高めるための指導法を工夫する。  
**【社会】** 地域社会から学ぶ体験的な学習の場を設定し、問題解決的な学習を進める。  
**【算数】** 学習の始めにめあてをもたせ、終わりには自己評価をさせることで、学力と学習意欲の向上を図る。  
**【理科】** 基礎基本の確実な定着を図るとともに、自然を愛する心情を育成する。  
**【生活】** 具体的な活動や体験を通して、生活上必要な習慣や技能を育成する。  
**【音楽】** 豊かに表現する力を育てるために、歌唱・器楽演奏の基礎的能力を育成するとともに、音楽のよさや楽しさを味わわせる。  
**【図画工作】** 進んで創作活動に取り組み、言語を通して表現する児童を育てる。  
**【家庭】** 日常生活に必要な基礎的な知識と技能を育成し、個に応じた指導法を工夫する。  
**【体育】** 児童一人一人にめあてをもって取り組ませる。課題解決のための運動量を確保することで、運動に親しむ資質や能力を伸ばす。児童自ら考え、工夫して取り組む力を育てる。

**◇学校経営方針◇**

- ①朝学習で基礎・基本の確実な定着を図る。
- ②泉小学習スタンダードで学習習慣、学習規律の定着を図る。
- ③泉小授業作りスタンダードを教師が活用し、学び合いの授業作りを推進し、児童の学習意欲を高める。
- ④算数科の習熟度別学習など、個に応じた指導体制を積極的に取り入れ、学習内容の定着を図る。
- ⑤図書館を積極的に活用させ、多様な活動を通じて言語能力を向上させる。
- ⑥泉小学校の歴史を振り返る学習を充実する。

**◇道徳の指導の重点◇**  
 ・授業の充実を図ることで、児童の主体的な自覚を促し、道徳的実践力を高める。  
 ・全教育活動を通して、互いに人格・人権を尊重し合い、思いやりの心をもって道徳的な実践ができるような態度を育てる。  
 ・身近な社会生活の中から、人権にかかわる問題を正しく理解させ、人権を尊重する態度を養う。



**◇外国語活動の重点◇**  
 ・外国語活動にふれ、慣れ、親しむことによって積極的に関わり合い言語を用いて積極的に伝え合う児童を育てる。

**◇特別活動の重点◇**  
 ・異学年児童の交流を深め、互いに助け合い励まし合う関係を築くよう支援する。  
 ・児童が主体的に活動できる場を保障する。  
 （泉まつり、全校遠足）

**◇総合的な学習の時間の指導の重点◇**  
 ・学び方やものの考え方を身に付け、主体的、創造的に問題解決する態度を育てる。  
 ・各教科で身に付けた知識や技能を相互に関連付け、それらを総合的にはたかせる授業を展開する。  
 ・地域の人材をゲストティーチャーとして積極的に活用する。

**◇進路指導の重点◇**  
 ・児童一人一人の能力や適正を正しく把握し、将来に希望や生き甲斐がもてるよう支援する。  
 ・学校生活の中で、自己のよさや役割について意識化させる生き方指導を積極的に取り入れる。

**◇生活指導の重点◇**  
 ・丁寧な言葉遣いと挨拶を通して円満な人間関係を築く。  
 ・基本的な生活習慣と規範意識の定着を図る。  
 ・教育相談活動の充実を図り、配慮を要する児童に対し、迅速で組織的な対応をしていく。

**本校の授業改善に向けた視点**

教育課程編成上の工夫	指導内容・指導法の工夫	校内における研究・研修の工夫	評価方法の工夫	家庭や地域との連携の工夫
◇週2回15分間の短時間学習を設定し、算数・国語の基礎基本の定着を図る。 ◇特色ある教育活動の充実を図る。[夏祭り・おはなしわくわく・なわとび大会・走ろう会等]	◇年間指導計画・評価規準を見直し、授業における指導と評価の一体化を図る。◇3年～6年の算数科少人数を実施し、個に応じた指導を工夫する。 ◇各教科・領域で言語活動の充実を図る。	◇研究主題「進んでかわり合い、伝え合う子供の育成」 ◇公開研究授業〔年間3回〕や事前授業の充実を図る。 ◇研究主題を受けて全教員が他教科で課題を設定し、研究授業をする。	◇1時間での評価規準を1項目に絞る。 ◇国語科ではワークテストを使用せず、観点別に適切な評価をする。 ◇自己評価や相互評価を取り入れ、教師は賞賛・励ましの評価をする。	◇2学期に学校公開を1週間行い、学校説明会を実施。 ◇11月に道徳授業地区公開講座を実施する。 ◇育成会や保護者と協力して夏祭り、わくわくコンサートを実施し相互の交流を図る。